

# 政策シート 政策名 02 豊かで安全・健康で快適な環境づくり

予算費目名 01 環境保全費

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

市民、事業者、行政が環境保全に関するそれぞれの役割を認識し、協働して各種環境保全活動を実践することにより、「良好な大気環境や水環境の保全」を図るとともに、「感覚公害のないまち」を実現し、「健康で安心して暮らせる生活環境」や「潤いのある豊かな自然環境」の確保を目指す。

### (3) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑥水・衛生	⑪都市	⑭海洋資源						
-----	-------	-----	-------	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	33,937	17,214	15,698			
決算	31,114	14,591				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	129,600	133,200	126,200			
年間経費(予算又は決算+A+B)	160,714	147,791	141,898			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
大気環境基準4項目(SO2、NO2、CO、SPM)の環境基準値達成割合	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100				
自動車騒音の要請限度内達成割合	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100				
佐鳴湖のCOD(化学的酸素要求量) ※5ヶ年移動平均値(R1は年間平均値)	mg/L	目標	8未満	8以下	8以下	8以下	8以下	8以下
		実績	7.1	7.6				

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

市民、事業者、行政が環境保全に関するそれぞれの役割を認識し、協働して各種環境保全活動を実践することにより、「良好な大気環境や水環境の保全」を図るとともに、「感覚公害のないまち」を実現し、「健康で安心して暮らせる生活環境」や「潤いのある豊かな自然環境」の確保を目指した。

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・大気環境の基準達成割合は100%、自動車騒音の要請限度内達成割合も100%、佐鳴湖のCODについても目標の8以下に対して7.6mg/Lと、3件の政策指標のいずれも目標を達成した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	大気・騒音対策事業	—	—	—		54,560	1,960	7.0	1.0		
2	水質保全事業	—	○	○		50,996	7,156	5.8	0.9		
3	雨水浸透ます普及事業	—	—	—		4,268	1,808	0.3	0.1		
4	環境保全デジタル運営経費	—	—	—		7,262	2,362	0.7			
5	環境保全運営経費	—	—	—		24,812	2,412	3.2			
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						141,898	15,698	17.0	2.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 大気・騒音対策事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

大気汚染の状況の監視、測定計画の作成及び調整、悪臭の防止等、大気汚染防止法や悪臭防止法等の法令に規定される事務の施行を基本とし、市民、事業者等への啓発、事故発生時の対策等に努め、健康で安全な生活環境を保全する。また騒音規制法、振動規制法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づき、騒音及び振動に係る生活環境を保全し、市民の健康の保護に資する。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S43	-	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)、自治事務(その他)	公害関係法(大気汚染防止法、騒音規制法等)、静岡県生活環境の保全等に関する条例等

### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑩都市								
事業とゴールの関連性	・有害化学物質の監視や大気汚染対策により、健康で安全な生活環境を保全する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2,162	2,848	1,960			
	決算	1,738	1,744				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,738	1,744	1,960			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	50,400	50,500	52,600			
人工	正規	7.2	6.7	7.0			
	再任用(h31)		1.0	1.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		52,138	52,244	54,560			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
大気環境基準4項目(SO2、NO2、CO、SPM)の環境基準値達成割合(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	100				
自動車騒音の要請限度内達成割合(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	100				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・PRTR法に基づく事業者からの報告の受理及び国への報告(法定)
- ・自動車排出ガスを含む大気汚染の状況に係る常時監視とデータの公表(法定)
- ・ダイオキシン類の発生抑制対策、ダイオキシン類対策特別措置法に定める自主測定結果の公表(法定)
- ・有害大気汚染物質の測定結果の整理と公表(法定)
- ・大気に係る事故の緊急時対応並びにオキシダントの監視及び注意報の対策(法定)
- ・微小粒子状物質(PM2.5)の監視及び注意喚起情報の対策(法定)
- ・大気汚染防止法、騒音・振動規制法、悪臭防止法及び県条例等に基づく届出受付事務及び特定事業所の立入検査(法定)
- ・各種公害相談に対する受付及び指導
- ・自動車騒音、航空機騒音及び一般環境騒音の測定結果の整理及び公表(法定)
- ・感覚公害防止のための浜松市音・かおり・光環境創造条例の啓発活動

#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・自動車騒音の基準達成割合、大気環境の基準達成割合とも100%であり、いずれも目標を達成した。
- ・大気汚染の状況の監視、測定計画の作成及び調整、悪臭の防止等、大気汚染防止法等の法令に規定される事務は、滞りなく行われており、市民、事業者等への啓発、事故発生時の対策等に努めた。
- ・騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に規定される事務は、滞りなく行われており、市民の生活環境を保全し、市民の健康の保護に努めた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

大気汚染防止法が改正され、特定粉じん排出作業の規制が強化されたことから、改正法に則り業務を遂行することで、大気環境を保全していく。

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・災害時のアスベスト飛散防止対策マニュアルを制定し、また市内外の2団体と災害時のアスベスト調査に関する協定を締結することで、発災時のアスベスト飛散及びばく露防止を図る体制を整えた。
- ・R3年4月施行分の大気汚染防止法の改正に関する資料を作成し、関係業者に周知を図った。
- ・再任用職員を活用した。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に規定される事務については、引き続き実施していく。
- ・大気汚染防止法の改正に伴い、特定粉じん排出作業への立入検査の強化及び関係業者へ周知を図る。
- ・市民の理解や利便性の向上を図るため、浜松市の環境の現状と対策の公表内容及び公表方法の見直しを行う

#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・PRTR法に基づく事業者からの報告の受理及び国への報告(法定)
- ・自動車排出ガスを含む大気汚染の状況に係る常時監視とデータの公表(法定)
- ・ダイオキシン類の発生抑制対策、ダイオキシン類対策特別措置法に定める自主測定結果の公表(法定)
- ・有害大気汚染物質の測定結果の整理と公表(法定)
- ・大気に係る事故の緊急時対応並びにオキシダントの監視及び注意報の対策(法定)
- ・微小粒子状物質(PM2.5)の監視及び注意喚起情報の対策(法定)
- ・大気汚染防止法、騒音・振動規制法、悪臭防止法及び県条例等に基づく届出受付事務及び特定事業所の立入検査(法定)
- ・各種公害相談に対する受付及び指導
- ・自動車騒音、航空機騒音及び一般環境騒音の測定結果の整理及び公表(法定)
- ・感覚公害防止のための浜松市音・かおり・光環境創造条例の啓発活動
- ・大気汚染防止法の改正に伴い、新たに規制対象となった特定粉じん排出作業について立入検査の実施
- ・R4年4月施行分の大気汚染防止法の改正に関する資料を作成し、関係業者に周知
- ・浜松市の環境の現状と対策の公表内容及び公表方法の見直しを行う

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	02	01	001503000	02	環境保全課	久米 秀幸	R3.7.1

# 事業シート (事業名) 02 水質保全事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

河川、湖沼、海域の公共用水域、地下水及び佐鳴湖、浜名湖など閉鎖性水域などの水質保全並びに地下水障害の防止を図り、健康で安全な生活環境を保全する。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S45	-	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)、自治事務(その他)	水質汚濁防止法、土壤汚染対策法、静岡県生活環境の保全等に関する条例、静岡県地下水の採取に

### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	136						

### (4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑥水・衛生	⑭海洋資源							
事業とゴールの関連性		<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水質の監視、地下水汚染の未然防止及び対策、土壤汚染対策などの実施により、健康で安全な生活環境を確保する。</li> <li>水質特定事業場の指導、立入検査などの実施により、河川、湖沼、海域の水質を保全する。</li> </ul>							

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	13,162	7,452	7,156			
	決算	11,834	6,872				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	11,834	6,872	7,156			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	53,300	57,120	43,840			
人工	正規	7.1	7.8	5.8			
	再任用(h31)	1.0	0.7	0.9			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		65,134	63,992	50,996			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
公共用水域の環境基準達成率(%)		-	目標	95	95	95	95	95	95
			実績	94.5	94.1				
佐鳴湖のCOD(mg/L)※5ヶ年移動 平均値(R1は年間平均値)		136	目標	8未満	8以下	8以下	8以下	8以下	8以下
			実績	7.1	7.6				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度	分野 04	基本政策 01	政策 02	予算費目 01	所属コード 001503000	事業 02	(担当課) 環境保全課	(責任者) 久米 秀幸	(基準日) R3.7.1
-------	----------	------------	----------	------------	--------------------	----------	----------------	----------------	-----------------

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

[R1-R4重点戦略項目 №136]

- ・水質汚濁防止法、静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出受付事務(法定)
  - ・公共用水域、地下水などの水質常時監視計画の策定と調査結果のとりまとめ及び公表(法定)
  - ・公共用水域における水質事故及び緊急時の対策(法定)
  - ・水質特定事業場の指導並びに立入検査計画の策定と結果のとりまとめ及び届出状況のとりまとめ(法定)
  - ・土壤汚染対策法に基づく届出や申請に対する事務及び土壤汚染の事業者に対する指導(法定)
  - ・「静岡県地下水の採取に関する条例」の施行(法定)及び「西遠地域地下水利用対策協議会」事務局の運営
  - ・地下水の水位調査及び塩水化調査
  - ・水浴場の水質調査計画の策定と調査結果のとりまとめ及び公表
  - ・佐鳴湖、浜名湖の水質浄化対策の検討
  - ・静岡県浜松土木事務所との「佐鳴湖地域協議会」の運営
  - ・「浜松市川や湖を守る条例」の施行及び周知
- ・芳川の着色対策の推進



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・令和2年度の公共用水域の環境基準達成率は、天候による高水温や濁りなどの原因で94.1%と目標の95%を達成できなかった。
- ・佐鳴湖のCOD(平成28年度～令和2年度の5ヶ年移動平均値)は7.6mg/Lと目標の8mg/L以下を達成した。
- ・水質汚濁防止法の届出事務、公共用水域の常時監視、水質事故の対応、特定事業場立入検査、地下水汚染時の対策、土壤汚染地区の指定などにより、公共用水域及び地下水の水質保全を図るとともに、土壤汚染による被害防止を図り、市民の健康保護及び生活環境の保全に努め、それらに関わる事務事業及び調査とりまとめ等は滞りなく行った。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・令和2年度は第二期行動計画の初年度であったが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発出により、総会を書面開催としたこと、また職員の勤務体制も変則となったことから、県浜松土木事務所・市環境保全課の共同事務局の意思疎通が遅れがちとなり、さらに、市民団体との会議もままならなかったことから、第二期計画の目玉事業である人材育成・プラットフォーム構築事務に遅延が生じた。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・水質汚濁防止法の届出事務、水質の常時監視、水浴場水質調査、水質汚濁事故への対応、特定事業場の立入検査、地下水汚染対策などにより、市内の公共用水域及び地下水の環境基準達成に向けて事業を実施した。
- ・土壤汚染対策法第4条第1項未届事案の再発防止策を検討し、チェック体制を構築すると共に環境法令研修を開催した。
- ・浜名湖の浄化対策として施肥協議会を開催すると共に、猪鼻湖の水質浄化対策として、草生栽培の啓発チラシを作成し配布した。
- ・県浜松土木事務所と共に、佐鳴湖地域協議会を運営し、佐鳴湖浄化を推進するための各種事業を運営した。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・水質汚濁防止法、土壤汚染対策法等の届出事務等において、押印廃止、電子申請などの事務取扱の変更に対応する。
- ・施肥協議会の取り組みを通じ、JA・農業部局と協力し猪鼻湖流域の果樹農家に向けて草生栽培の啓発活動を展開する。
- ・庁内関係部局と協力して、小規模未規制事業場の排水の悪臭対策を推進する。
- ・佐鳴湖行動計画(第二期)の目標「人材育成」に向けて、県および市民団体との協働で事業を推進する。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

[R1-R4重点戦略項目 №136]

- ・水質汚濁防止法、静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出受付事務(法定)
- ・公共用水域、地下水などの水質常時監視計画の策定と調査結果のとりまとめ及び公表(法定)
- ・公共用水域における水質事故及び緊急時の対策(法定)
- ・水質特定事業場の指導並びに立入検査計画の策定と結果のとりまとめ及び届出状況のとりまとめ(法定)
- ・土壤汚染対策法に基づく届出や申請に対する事務及び土壤汚染の事業者に対する指導(法定)
- ・「静岡県地下水の採取に関する条例」の施行(法定)及び「西遠地域地下水利用対策協議会」事務局の運営
- ・地下水の水位調査及び塩水化調査
- ・佐鳴湖、浜名湖の水質浄化対策の検討
- ・静岡県浜松土木事務所との「佐鳴湖地域協議会」の運営などについての考え方の擦り合わせ
- ・「浜松市川や湖を守る条例」の施行及び周知
- ・芳川の着色対策の推進
- ・小規模事業場の排水の悪臭対策のための臭気測定の実施と、排水規制のための条例の必要性の検討



# 事業シート (事業名) 03 雨水浸透ます普及事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

佐鳴湖の水質浄化対策の一環として、雨水浸透ますを普及、促進することにより、水質環境基準の早期達成及び維持を図る。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H18	R3	一般会計	自治事務(その他)	

### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
事業とゴールの関連性	雨水浸透ます設置により湧水を増やし、佐鳴湖の水質浄化をするとともに、水質浄化意識を市民に啓発し、浜松のシンボルである佐鳴湖をきれいにする機運を高める。ひいては廃棄物投棄の減少や下水整備の進捗にもつながり、湖沼や河川の水質が改善される。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	6,563	3,012	1,808			
	決算	6,416	3,011				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	6,416	3,011	1,808			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	2,800	2,480	2,460			
人工	正規	0.4	0.2	0.3			
	再任用(h31)		0.3	0.1			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		9,216	5,491	4,268			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
雨水浸透ます設置補助基数(基)			目標	450	500	530	-	-	-
			実績	415	465				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	02	01	001503000	03	環境保全課	久米 秀幸	R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・事業実施により佐鳴湖上流域に50基の雨水浸透ますを新規設置した。
- ・設置済の雨水浸透ますの機能保持を図るため、啓発を兼ねた職員による点検作業を実施した。(H18～21設置分)

#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・予算額削減による設置基数の減少により目標として設置基数は達成できなかった。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・令和2年度は本事業の実施により佐鳴湖上流域に50基の雨水浸透ますが新規設置された。
- ・本庁舎内に啓発チラシを掲示することにより市民に対する雨水浸透ます設置の啓発活動を実施した。
- ・令和3年度末の事業終了に向け関係機関への根回しを実施した。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・雨水浸透ます普及事業の考え方を、「事業による雨水浸透ますの設置基数増」から、「設置済雨水浸透ますの機能保持」、「市民への雨水浸透ます普及啓発」へと変更する。
- ・令和3年度をもち補助事業は終了とするが、市民啓発は継続する。
- ・設置済の雨水浸透ますの機能保持のため、職員による点検を令和8年度末までに計画的に実施する。(残1,050基程度)

#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・補助事業の最終年度として、佐鳴湖上流域での雨水浸透ます設置(既設30基分)について助成する。
- ・設置済雨水浸透ますの機能保持のため、職員による啓発を兼ねた点検を実施する。(H22～23年度設置、約250基)
- ・公共施設に設置済の大規模雨水浸透ます7箇所について啓発を兼ねた点検を実施する。
- ・市民に向けた雨水浸透ますの普及啓発活動を実施する。

## 事業シート (事業名) 04 環境保全デジタル運営経費

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

公害法令に基づく届出事務、環境の常時監視業務、水質事故発生時の対応業務などにおいてデジタル機器を活用することで、業務の効率化、迅速化をする。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3	-	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			2,362			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			2,362			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			4,900			
人工	正規			0.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				7,262			

### 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 04 基本政策 01 政策 02 予算費目 01 所属コード 001503000 事業 04 (担当課) 環境保全課 (責任者) 久米 秀幸 (基準日) R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

環境法令の概要や届出手続等を周知するため、Youtube配信による庁内研修を実施

#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

受講者111人(受講後アンケートを提出した個人の数)

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

法改正によっては、該当する動画の更新を行う必要がある。

インターネット上にて受講する環境が整っていない所属に配慮する必要がある。

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

アンケートにて、録音環境の改善を求める意見が多数あったため、当年度より対応する。

常時視聴できる状態において、受講すべき課が受講できているか確認ができるように対応する。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

環境法令に関する届出書の電子申請への対応可否の検討を行う。

電子申請フォームによる公害苦情の受付を行い、市民の利便性向上及び職員の電話対応時間の軽減を図る。

公害防止関係法令の届出事項をオープンデータとして公表する。

#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・市内の事業場の公害関係情報をシステムにて一元管理し、事業場への指導等を実施する
- ・水質汚濁事故時の現地調査でタブレットを活用し、迅速、的確な事故対応を行う
- ・公共用水域の測定データを電算システムを活用して処理し、ホームページ上で公表する
- ・公害苦情の受付が可能な電子申請フォームを作成、試行する
- ・公害防止関係法令の届出事項をオープンデータとして公表する

# 事業シート (事業名) 05 環境保全運営経費

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

・事務用品、備品、公用車などの適切な購入、管理により、業務を滞りなく遂行する。  
 ・複雑多岐にわたる現代の環境問題に対処するために、関係機関との協議及び情報交換を行う。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H2	-	一般会計	自治事務(その他)	

### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	12,050	3,902	2,412			
	決算	11,126	2,964				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	11,126	2,964	2,412			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		23,100	23,100	22,400			
人工	正規	3.3	3.3	3.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		34,226	26,064	24,812			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 04 基本政策 01 政策 02 予算費目 01 所属コード 001503000 事業 05 (担当課) 環境保全課 (責任者) 久米 秀幸 (基準日) R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・環境行政に関する諸問題に対処するために、環境省、政令市、静岡県等関係機関との協議及び「静岡県都市環境保全行政研究会」での情報交換等を行った。
- ・6台の公用車の車検、点検、修繕を適正に行った。
- ・その他、環境保全業務を推進した。



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  現状  小項目  現状  /  事業費  現状  人工  現状

- ・課内グループの再編成を行い、庶務、経理などの業務の効率化を行った。
- ・公用車の老朽化に伴うリース化更新のため入札を行ったが、新型コロナウイルスの影響により不調に終わった。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  現状  小項目  現状  /  事業費  現状  人工  現状

- ・公用車の老朽化に伴うリース化更新に伴い、装備の付加による安全性の充実を図る。
- ・課内グループの再編成を行い、庶務、経理などの業務の効率化を図る。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・環境行政に関する諸問題に対処するために、環境省、政令市、静岡県等関係機関との協議及び「静岡県都市環境保全行政研究会」での情報交換等を行う。
- ・公用車2台の老朽化に伴うリース化更新を行う。
- ・その他、環境保全業務を推進する。